

## 米山奨学生として

こんにちは。私はマレーシアから参りました、チュアチーシェンと申します。世話クラブは真岡ロータリークラブです。父の仕事の影響で、日本の工業技術に惹かれ、それを勉強しようと思い、現在足利工業大学の電気電子コースに所属しています。毎月足利から真岡まで1時間半ぐらい通っていますが、カウンセラーはとても優しい方で、会員の皆さんも優しくしてくれています。距離は遠くても心は幸せいっぱいなので、ご心配なく。

米山奨学生になってから、奨学金はもちろん、交流会、ボランティアなどを通じて、普通の学生では体験できないことを経験し、非常に身になったのではないかと考えています。奨学金をいただくことで、前やっていた深夜のバイトの時間も減らし、より学業に注力することができました。そのおかげで4年生になった私は、研究と就職活動を両立でき、5月に念願の企業から内定をいただくことができました。もちろん、研究発表も無事終了することができました。言葉で表せないほど感謝しています。

そのほかに、米山奨学生の交流会などを参加することで、異なる国籍の友達もたくさん増えました。それぞれ違った背景、考え方、価値観の人々が集まっているので、世界観を広げることができました。よりたくさん人間関係を築くため、今年ロータリーアクトにも入会しました。4年生はよく忙しいと言われる時期ですが、これを最後の1年間だと思って、充実した学生生活を送りたいです。今後いろんな奉仕活動に取り組んで、少しずつ学んでいきたいと思っています。

今年ロータリーを通じて得た一番大きなことは、ロータリー国際大会に参加したことです。開会式の当日、会場が広すぎてどこに座ればいいのか迷ってしまいました。周囲を見渡すときに、なんだかマレーシアの国旗が見えてきました。すぐに挨拶しに行ったところ、話をかけていただいた方はなんと地元の近所に住んでいたロータリアンです！そこでぜひバナーの交換をしようという話が出てきて、来月マレーシア帰るとき、世話クラブの真岡バナーを持っていく予定でございます。その際、米山奨学金の話を‘宣伝’させていただきます。この新たなネットワークによって、今後母国に帰ったら、まだマレーシアにはない米山学友会を立ち上げることもよりスムーズに進めると信じています。

今まで社会についてなにもわからなかった私が、この2年間で勉強になったことは数えきれないほどたくさんあります。これらは米山奨学生ならではの生活だと思います。経済的なサポートだけではなく、一人前の社会人・人財として育ててくれるクラブです。この精神を社会人になっても、必ず忘れずに広げていきたいです。